

認証35周年記念事業及記念寄付



(認証35周年記念楯)

ソロプチミスト誓約

私たちはソロプチミストとして
ソロプチミズムに忠誠を誓い

真摯なる友情
偉業達成の喜び
奉仕の尊さ
誠実な職業
国土愛

などを強調する
その理想に忠実に従います
私たちは最善をつくしてこれらの理想を促進し
支持し 擁護し 家庭 社会 実業界において
より大きな友情を築き 国家のため 神のために
努力いたします

〈記念事業〉

■電気自動車を山形市役所へ寄贈



■山形城北高等学校 Sクラブ認証



Sクラブ会員に、会長よりピン贈呈



アトラクション 生徒による琴の演奏

■チャリティーゴルフ大会にて記念品贈呈



■記念講演会

高嶋由美子国連UNHCR協会局長

■35周年記念誌発行

〈記念寄付〉

- ・国連UNHCR協会
- ・国際ソロプチミストアメリカ連盟
- ・国際ソロプチミストアメリカ日本北リジョン

- ・(財)ソロプチミスト日本財団
- ・山形ドキュメンタリー映画祭
- ・国際ボランティアセンター山形



国際ソロプチミスト山形
会長 菅野 郁子

緑萌え、花々が美しく咲き誇り、風輝く良い季節となりました。

1975年、国際ソロプチミスト仙台のスポンサーにより、認証致しましてから35年、地域の皆様方の深いご理解と、惜しみないご協力を頂戴して参りました。心より感謝と御礼を申し上げます。

又歴代会長始め、諸先輩方のソロプチミストの理念に基づいた、奉仕活動へのたゆまぬ努力と優れた実践の数々に、この場をお借り致しまして心より敬意を表したいと存じます。

そして35年という長きに渡り培って参りました国際ソロプチミスト山形の、輝かしい足跡を汚すことなく、奉仕活動の歴史を繋いでゆかなければと思っております。

さて、世界では自然の猛威に晒され、又戦火に追われ、家を失い食べる物も満足にない悲惨な生活を余儀なくされている人々、又途上国の女性女児への暴力、虐待、人身売買など、心が痛む悲しい出来事が日常茶飯事に起きております。

このような時代だからこそ、私たちは、ソロプチミズムに忠誠を誓い「真摯なる友情」「偉業達成の喜び」「奉仕の尊さ」、などを合い言葉に、地域社会はもとより、国内そして世界へと、会員一同、社会的使命感と真心を持って、様々な奉仕活動に取り組んでゆかなければと、この節目の年に当たり、決意を新たにしているところでございます。

どうぞ皆様、これからご指導ご鞭撻の程心よりお願い申し上げます。

最後になりましたが、国際ソロプチミスト会員皆様方の益々のご健勝ご多幸を、そして世界平和をご祈念申し上げまして、併せまして35周年を迎えることが出来ました喜びと、感謝の気持ちを込めまして、ご挨拶とさせていただきます。



国際ソロプチミスト山形
35周年実行委員長 井出 葛子

薫る風さわやかな心地よいこの5月に、認証35周年の記念式典をつつがなく終了させていただく事ができまして、本当にありがとうございました。

式典では、ご来賓の吉村美栄子山形県知事、市川昭男山形市長、富田俊子(勲)ソロプチミスト日本財団理事長、そして、菅原恵美子国際ソロプチミストアメリカ日本北リジョンガバナー、みなさまからの暖かいお祝いのお言葉をいただき、深く感謝申し上げます。また、黒澤洋介山形新聞社社長のほか、たくさんのご来賓の方々はじめ、山形県下の姉妹クラブのみなさまのご臨席をいただき、盛会裡に閉会出来ましたこと、心より御礼申し上げます。更に、記念事業のひとつとして、難民問題に取り組む国連へご寄付を申請いたしましたところ、高嶋由美子UNHCR局長にはお忙しいところ足を運んで記念講演をしてくださいました。お陰様で、悲惨な現状を把握することが出来、私達の使命を再認識いたしました。

過去の積み重ねは新しい時代を築きます。1975年に認証されました我がクラブは、現在総勢53名となり、そのうち10名のチャーターメンバーも、後輩の指導に元気に活躍されております。特に富田俊子名誉理事は、(勲)ソロプチミスト日本財団の理事長として重責を果たされております。このように山形クラブが大きく発展いたしましたのも、地域の皆様方の温かいご理解、ご支援の賜物と深く感謝いたしております。

これからも「奉仕できる幸せ」をもつと共に、それだけではなく、奉仕とはいかにあるべきか、人のために何かを為すことの難しさにもまた対峙しながら、身の丈にあった活動をさせていただきたいと存じます。



山形県知事 吉村 美栄子

国際ソロプチミスト山形の認証35周年記念式典が挙行されるにあたり、一言お祝いを申し上げます。

国際ソロプチミストの皆様は、女性にとって最良のものを目指すという理念のもとに、高い倫理観と友愛・奉仕など崇高な精神を持って、また、世界友好への貢献という国際的な視野に立ちながら、精力的な活動を展開されておられます。

また、国際ソロプチミスト山形におかれましては、35年の長きにわたり、人権の尊重と女性の地位向上のために、献身的な奉仕活動を続けられ、確固たる基盤を築いておられます。

特に、女性の人権の尊重に関しましては、配偶者等からの暴力の撲滅への支援活動に尽力され、自らDV被害者支援基金を設立されるなど、DV被害者支援に積極的に取り組んでおられます。これらの先駆的な奉仕活動と御努力に対しまして、心から敬意を表すものであります。

さて、私は、県政運営において、「心の通う温かい県政」を基本姿勢として大切にしております。

ここにお集まりの皆様の様々な奉仕活動は、人を大切にすることを醸成し、また、県民の皆様がお互いに心を通わせる機会を創出し、温かい県政を実現するための大きな原動力となっていくことと確信しております。

結びに、ここに謹んで認証35周年をお祝いし、本日の御盛典を心からお喜び申し上げますとともに、国際ソロプチミスト山形の更なる御発展を心から祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。



山形市長 市川 昭男

国際ソロプチミスト山形が認証35周年という輝かしい節目を迎えられますこと、心からお祝いを申し上げます。

貴団体におかれましては、昭和50年の認証以来、35年の長きにわたり崇高な奉仕の理念に基づき、各界の連携のもと様々な活動を展開され、女性の社会的地位の向上をはじめ地域社会の発展と住民福祉の向上に大きく貢献してこられました。こうした輝かしい歴史と伝統を築き上げてこられました歴代の会長をはじめ会員の皆様に対し、深甚なる敬意と感謝を申し上げます。

また、このたびは、貴団体の認証35周年記念事業といたしまして、本市に電気自動車をご寄贈いただきましたことに対し、改めて厚く御礼を申し上げます。

ご寄贈いただきました電気自動車は、環境に優しい「新世代自動車」であることから、「地球温暖化防止」の広告塔として、環境教育や様々なイベントにおいて活用させていただく予定です。多くの市民の皆様目の触れることで、環境への関心をもってもらえるものと期待しているところであります。

さて、現在、少子高齢化の急速な進展や人口減少社会の到来により、社会のシステムが大きな転換期を迎えている中、NPOとの連携やPFIの積極的な活用を図るなど、市民の皆様と行政が協力し合ってまちづくりを進めていくことが不可欠となっております。

本市でも『みんなで創る「山形らしさ」が輝くまち』を将来の都市像として掲げ、市民・事業者・行政が連携し、適切な役割を担いながら、「山形ならではの良さ」にさらに磨きをかけて次世代に引き継いでいくことで、持続可能な循環型社会を構築していくことを目標に、各般の施策に鋭意取り組んでおります。

こうしたまちづくりを着実に推進していくためには、様々な分野でリーダーとして活躍されている国際ソロプチミスト山形の皆様方との連携は不可欠であり、今後ともより一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴団体の更なるご発展と会員の皆様方のますますのご健勝ご活躍を心からお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。



財団法人ソロプチミスト日本財団
理事長 富田 俊子

風薫る新緑の美しい5月、国際ソロプチミスト山形が認証35周年を迎えられましたことを御慶び申し上げます。

山形クラブは私の所属しているクラブで御座いまして、1975年「国際婦人年」に認証いたしました。

以来35年、ソロプチミストの使命であります、「地域社会と世界中の女性と女兒の生活の向上」をターゲットに、活動を続けて参りました。会員はお互いに「愛と尊敬と喜びの心」で接し、毎月の例会は年齢、職業の枠を越えて、楽しく友好を深める場となり、又自己研鑽、リーダーシップ、トレーニングの場でもあります。本当に良いクラブでございます。委員会活動も活発で、アメリカ連盟やソロプチミスト日本財団の「顕彰、援助事業」に対しては地域の人材を見出し発掘して毎年各賞全てに候補者を推薦致しております。

ドメスティック、バイオレンスに対する積極的な取り組みなどを初め数々の奉仕事業を展開いたしております。

さて、日本全国のソロプチミスト全会員で維持しております「財団法人ソロプチミスト日本財団」はお陰様で昨年設立30周年を迎えました。そして11月に京都におきまして「設立30周年記念年次大会」を開催致しました。山形クラブよりお祝いとして大変高額なご寄付を頂戴いたしました。又式典にはクラブ会員全員に近い方々にご出席頂き、日本全国からご参加して下さった約4,000名の会員と共にお祝いをして頂きました。本当に有り難う御座いました、厚く御礼申し上げます。

山形クラブの皆様、今後共健康にご留意下さいまして更なる未来に向けて、実りある活動を続けて頂けますようご祈念申し上げお祝いのことばと致します。



日本北リジョン
ガバナー 菅原 恵美子

国際ソロプチミスト山形様には、この度、ご認証35周年をお迎えになられまして誠にめでとうございます。日本北リジョン会員一同を代表いたしまして心よりお祝いを申し上げますお慶び申し上げます。

新緑が目鮮やかな、風薫る5月の佳き日に地元ご来賓の皆様を始め、姉妹クラブの皆様のご出席を頂きまして、一緒に35周年をお祝いできますことは誠に嬉しく心よりお祝いを申し上げます次第でございます。

1975年5月12日、国際ソロプチミスト山形は誕生なさいました。スポンサークラブは、国際ソロプチミスト仙台でございます。ご認証以来今日までの35年間、貴クラブ富沢初代会長はじめ歴代会長様、会員皆様の真摯なご活動に対し深甚なる敬意を表するものでございます。

貴クラブは、常に連盟プロジェクト、また、地域のニーズに添って活動され、そのご活躍はまことに素晴らしい、県内はもとより北リジョン内のクラブの範として敬服申し上げますばかりでございます。SI酒田を始めとして、県内に7つのソロプチミストクラブをスポンサーされ、また、山形ベンチャークラブ、Σソサエティを2クラブ、Sクラブを3クラブ、スポンサーされていらっしゃいます。そして継続事業として、これらのクラブへ毎年、助成金を贈呈、女子学生へ奨学金贈呈、DV被害者支援基金の創設、また、連盟プログラム各賞、(財)ソロプチミスト日本財団へのご応募等は毎年、欠かさず取り組まれて、その受賞歴もまた枚挙にいとまがありません。

また、1988-1990年期、北リジョン2代目のガバナーを務められて現在、財団法人ソロプチミスト日本財団の理事長でいらっしゃいます、富田俊子様を中心に、一糸乱れぬご活動は正に凄いと申し上げるほかございません。

今後共、ソロプチミストとして、連盟の使命達成のために一層のご活動をお願い申し上げますと共に、貴クラブの益々のご発展ご活躍と、合わせて会員皆様のご健勝をご祈念申し上げます、誠に措辞でございますがご祝辞に代えさせていただきます。

認証35周年記念式典



山形県知事吉村美栄子様 祝辞



山形市長市川昭男様 祝辞



日本北リジョンガバナー菅原恵美子様 祝辞

式典次第

日 時 2010年5月17日(出) 式 典 10:30~11:30
記念講演 11:30~12:00
祝 宴 12:30~14:30

会 場 山形グランドホテル 2Fサンリブ
司 会 国際ソロプチミスト山形 柴田典子 大場裕子

～祝舞(寿鶴)やまがた舞子～
国際ソロプチミスト山形会長 菅野郁子

1. 点鐘 開会宣言
2. 国旗・会旗に礼
3. 国歌斉唱
4. ソロプチミストシンフォニー斉唱
5. 来賓紹介
6. 国際ソロプチミストアメリカ日本北リジョン役員紹介
7. 国際ソロプチミストアメリカ日本北リジョン委員会の紹介
8. 国際ソロプチミスト出席クラブ紹介
9. 会長挨拶 国際ソロプチミスト山形会長 菅野郁子
10. 祝 辞 山形県知事 吉村美栄子様
山形市長 市川昭男様
(財)ソロプチミスト日本財団理事長 富田俊子様
国際ソロプチミストアメリカ日本北リジョンガバナー 菅原恵美子様
11. 国際ソロプチミストアメリカ 連盟会長メッセージ並びに日本北リジョンより「記念楯」授与
12. 認証35周年記念事業、目録贈呈並びに感謝状授与
山形県庁
山形市役所
国連UNHCR協会
(財)ソロプチミスト日本財団
国際ソロプチミストアメリカ連盟
国際ソロプチミスト日本北リジョン
山形国際ドキュメンタリー映画祭
国際ボランティアセンター山形「IVY」
13. 祝電披露
14. ソロプチミスト誓約
15. 閉会宣言 国際ソロプチミスト山形会長 菅野郁子



国連UNHCR協会へ寄付金贈呈



(財)ソロプチミスト日本財団富田理事長より感謝状受理

式典

Soroptimist International of Yamagata



国際ソロプチミスト山形
認証35周年記念式典



祝舞(寿鶴)やまがた舞子の皆様



国歌斉唱



祝宴

Soroptimist International of Yamagata



井出実行委員長のご挨拶



カンパイ! 山形新聞社長 黒澤様



感謝の花束贈呈



南川様、那須様
クラリネット演奏



なごやかな祝宴風景

認証35周年記念講演

私達ソロプチミスト山形では、毎年歳入事業を行って奉仕資金を得ています。今年、認証35周年を迎えるにあたり、特にUNHCR協会を通じて多くの寄付を致しました。今日ここに局長 高嶋由美子様をお迎えし、国連UNHCR協会の活動について御講演を頂きました。



難民と一緒に働いて

講師
国連UNHCR協会局長 高嶋由美子

UNHCR協会では、ソロプチミストのみならず長い間大きな支援を頂いております。それらのご寄付がどの様に使われ、役立っているかを、本日タイ難民キャンプのミャンマーの方々についてスライドを通してお話ししたいと思います。

難民とは、国籍、人種、宗教、政治的などの理由で迫害された人々のことを言います。自国を追われた人々は、近隣の国に逃れて行きます。その国が、必ずしも経済の豊かな国でない場合が多いのです。タイもその一つです。タムビンキャンプはバンコクから、車で5時間位の所にあり、ミャンマー国境から12km程の所にあります。人口は4,500人位の小さなキャンプです。そこには診療所もあり、二人の医師がおります。建物は竹で出来ており、難民の人々が手造りで作ったものです。自分達の家もUNHCR協会の手助いで、竹を配分されて作ったものです。又、水は一人一日20リットル、日本人の使う10分の1にも満たない量で、食事の支度からシャワーを浴びる事まで、全てにつかいます。

今、UNHCR協会の人々と一緒に働いている難民の方は、5年以上この状態を続けている人が3分の2を占めていて、いつ家に帰れるのか、又難民でなくなるのかはいつなのか分からない状況です。

実際UNHCR協会の活動は98%以上が皆様のような団体や、国、一般の方々からの資金によって成り立っております。それ故に、資金の欠如が難民の生活に直接関わってきます。私達UNHCR協会が出来る事は、皆様からこの様な多くのご支援を受けて、難民の人々に一時的ではありますが、貴重な奉仕の心をとどけることを使命として活動しております。

タムビンキャンプの現状



自分の家を作る
家を建てるために最初に竹が200本ほど、その後2年ごとに約30~50本が配られます。



職業訓練所 キャンプ内では様々な職業訓練が行われている。



診療所 キャンプ内で働く医師は2人で、医師の補佐は訓練された難民が行う。



買い物をする
難民の人たちは、配給品を売ったりして必需品を買っている。



真剣に学ぶ子供達



シャンティー図書館



講師の高嶋由美子様を囲んで

おめでとうございます



2008年4月に、我がクラブの富田俊子名誉理事が、(財)ソロプチミスト日本財団の5代目理事長にご就任なさいました。

別欄の経歴をご覧になってもお分かりかと思いますが、SI山形の会長を経てから、SIA日本リジョンや、北リジョンの理事や役員などをご歴任なされ、さらに第2代目の北リジョンガバナーという重職を務められました。そしてその直後に、SIAの連盟理事に任命されました。一方では、歯科医師としての職務を遂行なされながら、アメリカと日本を年に7~8回も往復されるという人並みはずれたご活躍でした。その後も今日までソロプチミスト日本財団の要職におられました。

これらのすばらしい実績が認められ、現在は日本財団のトップである理事長に就かれ、重責を果たされておられます。

私たちのクラブから日本財団の理事長が誕生したという事実は、クラブにとっても会員一人一人にとっても、何ものにもかえ難い喜びであり名誉なことでございます。そしてこうしたご功績は、ひとつの理想として道標となることでしょう。これからも、山形クラブのこの誇りに恥じないように、私共も行動していかなければと肝に銘じております。

2008年度会長 井出 葛子



会員による祝辞(鶴亀)



元理事長 湯浅様もかけつけ～



富田俊子理事長のプロフィール

- 1975年 SI山形認証
チャーターメンバーとして入会
副会長に就任
- 1981年 SI山形会長に就任
- 1982年 SIA日本リジョン東北地区理事に就任
(財)ソロプチミスト日本財団理事に就任
(82~84, 89~91)
- 1986年 SIA北リジョン(ボードメンバー)
- 1988年 SIA北リジョンガバナー
- 1991年 SIA連盟理事に就任
- 1995年 (財)ソロプチミスト日本財団監事
に就任(~04)
- 2005年 ソロプチミスト日本財団理事会
理事に就任(年次大会担当)

創立30周年記念 ソロプチミスト日本財団 年次大会 京都



受賞者(社会ボランティア賞) 山口由美様受賞者を代表して謝辞



65の個人・団体を表彰

ソロプチミスト日本財団
創立30周年記念年次大会
ソロプチミスト日本財団(京)が、全国でボランティア活動をする65の個人と団体を表彰した。年次大会は、11月17日、左京区のみやこめつで開かれ、同財団は、1979年に設立され、社会貢献などの活動に援助を続けている。この日は全国の会員約4千人が集まり、財団の富田俊子理事長が、「30年の歩みを感じ、さややかならな活動の道を歩んでいきたい」とあいさつした。

その後、富田理事長が社会ボランティア賞などを授けた人たちに表彰状や援助金の目録を手渡した。山形市で活躍の普及活動をしてきた山口由美さん(55)は、「子どもたちの健康を大切にしてください」と受賞の喜びを話した。(中塚路良平)

2009年11月18日 京都新聞に掲載



手打「廊の賑い」祇園甲部技芸連



京都の紅葉



鈴龜寺の幸福地藏